

平均・分散・共分散（期待値で記述）

1. 基本的な定義と関係式

n 個のデータ $\{(x_i, y_i)\}$ について、 i 番目のデータが得られる確率 p_i を、

$$p_i = \frac{1}{n}, \quad (1-1)$$

とすれば、 $\{(x_i, y_i)\}$ の平均値、分散、共分散を、確率変数に関する表現を用いて表すことができる。

ここで、以下のように2つの式を定義する。

$$E[x] = \sum_i x_i p_i, \quad (1-2)$$

$$\text{Cov}[x, y] = E[(x - E[x])(y - E[y])], \quad (1-3)$$

ここで、 a, b を定数とすると、

$$E[ax + b] = \sum_i (ax_i + b) p_i = \sum_i (ax_i p_i + b p_i) = a \sum_i x_i p_i + b \sum_i p_i,$$

となる。 p_i は確率なので、

$$\sum_i p_i = 1, \quad (1-4)$$

が成立する。よって、Eqs. (1-2, 1-4) より、

$$E[ax + b] = a \sum_i x_i p_i + b \sum_i p_i = aE[x] + b,$$

となる。つまり、

$$E[ax+b] = aE[x] + b, \quad (1-5)$$

が成立する。

2. 平均

Eqs. (1-1, 1-2)より、

$$E[x] = \sum_i x_i p_i = \frac{1}{n} \sum_i x_i,$$

であり、 $\{x_i\}$ の平均値 μ_x は、以下の式で与えられる。

$$\mu_x = E[x]. \quad (2-1)$$

ここで、 a, b を定数として、

$$X_i = a(x_i - b), \quad (2-2)$$

とすると、Eq. (1-5)より、

$$E[X] = E[a(x-b)] = E[ax-ab] = aE[x]-ab = a(E[x]-b),$$

となる。つまり、

$$E[X] = a(E[x]-b), \quad (2-3)$$

となる。

3. 分散

Eqs. (1-1 ~ 1-3, 2-1)より、

$$\text{Cov}[x, x] = E[(x - E[x])(x - E[x])] = E[(x - E[x])^2] = \frac{1}{n} \sum_i (x_i - \mu_x)^2,$$

となるので、 $\{x_i\}$ の分散 s_{xx}^2 は以下の式で与えられる。

$$s_{xx}^2 = \text{Cov}[x, x]. \quad (3-1)$$

この式を展開すると、Eq. (1-5)より、

$$\begin{aligned} \text{Cov}[x, x] &= E[(x - E[x])^2] = E[x^2 - 2xE[x] + (E[x])^2] \\ &= E[x^2] + E[-2xE[x]] + E[(E[x])^2] = E[x^2] - 2E[x]E[x] + (E[x])^2 E[1], \\ &= E[x^2] - (E[x])^2 \end{aligned}$$

となるので、

$$\text{Cov}[x, x] = E[x^2] - (E[x])^2, \quad (3-2)$$

が成立する。

ここで、 a, b を定数として、Eq. (2-2)のように X_i を定義すると、Eqs. (1-5, 2-3, 3-2)より、

$$\begin{aligned} \text{Cov}[X, X] &= E[X^2] - (E[X])^2 = E[(a(x-b))^2] - (E[a(x-b)])^2 \\ &= E[a^2(x^2 - 2bx + b^2)] - (a(E[x] - b))^2 = a^2 E[(x^2 - 2bx + b^2)] - a^2 (E[x] - b)^2 \\ &= a^2 \{E[x^2] + E[-2bx] + E[b^2] - ((E[x])^2 - 2bE[x] + b^2)\}, \\ &= a^2 \{E[x^2] - 2bE[x] + b^2 - ((E[x])^2 - 2bE[x] + b^2)\} \\ &= a^2 \{E[x^2] - (E[x])^2\} = a^2 \text{Cov}[x, x] \end{aligned}$$

となる。つまり、

$$\text{Cov}[X, X] = a^2 \text{Cov}[x, x], \quad (3-3)$$

となる。Eq. (3-3)は b によらないため、分散は b に依存しないことが分かる。

4. 共分散

Eqs. (1-1 ~ 1-3, 2-1)より、

$$\text{Cov}[x, y] = E[(x - E[x])(y - E[y])] = \frac{1}{n} \sum_i (x - E[x])(y - E[y]) = \frac{1}{n} \sum_i (x - \mu_x)(y - \mu_y),$$

となるので、 $\{(x_i, y_i)\}$ の共分散 s_{xy}^2 は以下の式で与えられる。

$$s_{xy}^2 = \text{Cov}(x, y). \quad (4-1)$$

この式を展開すると、Eq. (1-5)より、

$$\begin{aligned} \text{Cov}[x, y] &= E[(x - E[x])(y - E[y])] = E[xy - yE[x] - xE[y] + E[x]E[y]] \\ &= E[xy] + E[-yE[x]] + E[-xE[y]] + E[E[x]E[y]] \\ &= E[xy] - E[x]E[y] - E[y]E[x] + E[x]E[y]E[1] \\ &= E[xy] - 2E[x]E[y] + E[x]E[y] = E[xy] - E[x]E[y] \end{aligned}$$

となるので、

$$\text{Cov}[x, y] = E[xy] - E[x]E[y], \quad (4-2)$$

が成立する。

ここで、 a, b, c, d を定数として、

$$X_i = a(x_i - b), \quad (4-3)$$

$$Y_i = c(y_i - d), \quad (4-4)$$

とすると、Eqs. (1-5, 2-3, 4-2 ~ 4-4)より、

$$\begin{aligned} \text{Cov}[X, Y] &= E[XY] - E[X]E[Y] = E[a(x-b)c(y-d)] - E[a(x-b)]E[c(y-d)] \\ &= acE[xy - by - dx + bd] - a(E[x] - b)c(E[y] - d) \\ &= ac\{E[xy] - bE[y] - dE[x] + E[bd] - (E[x]E[y] - bE[y] - dE[x] + bd)\} \\ &= ac\{E[xy] + bd - (E[x]E[y] + bd)\} = ac\{E[xy] - E[x]E[y]\} = ac\text{Cov}[x, y] \end{aligned}$$

となる。つまり、

$$\text{Cov}[X, Y] = ac\text{Cov}[x, y], \quad (4-5)$$

となる。Eq. (4-5)は b, d によらないため、共分散は b, d に依存しない。

5. 相関係数

Eqs. (3-1, 4-1)より、 $\{(x_i, y_i)\}$ の相関係数 ρ_{xy} は以下の式で与えられる。

$$\rho_{xy} = \frac{\text{Cov}(x, y)}{\sqrt{\text{Cov}(x, x)}\sqrt{\text{Cov}(y, y)}}. \quad (5-1)$$

Eqs. (4-3, 4-4)と同様に X_i, Y_i を定義すると、Eqs. (3-3, 4-5, 5-1)より、

$$\begin{aligned} \rho_{XY} &= \frac{\text{Cov}(X, Y)}{\sqrt{\text{Cov}(X, X)}\sqrt{\text{Cov}(Y, Y)}} = \frac{ac\text{Cov}(x, y)}{\sqrt{a^2\text{Cov}(x, x)}\sqrt{c^2\text{Cov}(y, y)}}, \\ &= \frac{ac}{\sqrt{a^2c^2}} \frac{\text{Cov}(x, y)}{\sqrt{\text{Cov}(x, x)}\sqrt{\text{Cov}(y, y)}} = \frac{ac}{|ac|} \rho_{xy} \end{aligned}$$

となる。つまり、以下の関係式が成立する。

$$\rho_{XY} = \begin{cases} \rho_{xy} & (ac > 0) \\ -\rho_{xy} & (ac < 0) \end{cases}. \quad (5-2)$$